基本的人権と日本国憲法

フランス革命⇒フランス人権宣言

南北戦争⇒アメリカ独立宣言



このように、人権を大切にする風潮が現れた。そして日本では、人権を大切にする風潮ではなく、天皇中心の人権思想が発達した　Ex.大日本帝国憲法



日本国憲法の仕組み

憲法は最高法規であり、天皇はあくまで象徴

　基本的人権

・平等権

・自由権

・社会権：生存権

・人権を守るための権利：参政権、請求権

・新しい人権：環境権、プライバシー権、自己決定権

・国民の義務：子女に教育を受けさせる義務、

　　　　　　　勤労の義務、納税の義務

地方財政

・地方交付税交付金：貧乏な地方の財政を心配して、国がくれるお金。ちなみに借金ではないので国に返す義務はない。また、使い道は地方の自由

国庫支出金：国が地方にくれるお金だが、使い道が決められている

地方税：地方それぞれが市民から集めた税金

地方債：地方が国にする借金





選挙の形式

　普通選挙・平等選挙・秘密選挙・直接選挙がある。

普通選挙：[選挙](https://naiyoshomei.k-solution.info/2012/08/post_184.html)権・被[選挙](https://naiyoshomei.k-solution.info/2012/08/post_184.html)権の資格を性別・身分・財産（納税額）・教育などで制限せず、一定の年齢に達したすべての人に与える[選挙](https://naiyoshomei.k-solution.info/2012/08/post_184.html)制度

平等選挙：**平等選挙**とは、性別・身分・財産（納税額）・教育などで投票数を差別することなく、１人が１票を投票する[選挙](https://naiyoshomei.k-solution.info/2012/08/post_184.html)制度をいいます。

秘密選挙：**秘密選挙**とは、投票した人が誰に投票したかがわからないようにする[選挙](https://naiyoshomei.k-solution.info/2012/08/post_184.html)制度

直接選挙：投票者が直接投票する制度。投票者する人と投票される人の中間に誰も関与しないということ